

「夏の子ども会」案内書より

安全と健康

緊急の際の対応方法や子どもの安全・健康管理等につきましては、リーダーの各種研修会で重要項目として学習を重ね、避難誘導や消火活動、心肺蘇生法などの実地訓練を毎年行って、これまで幸い大きな事故を起こさずに運営してきました。

開催期間中はしぶき荘と山ろく荘それぞれに保健室と救護専任リーダーを置き、大事の無いように細心の注意を払っています。万一のために、しぶき荘にはAEDを配置済みです。

両宿舎から車で3分の場所には東伊那すこやかクリニックが、また、同10分の市内には救命救急センターのある昭和伊南総合病院、さらに同20分の隣接市には地域救急医療センターを備えた伊那中央病院があり、救急の際の処置に対して手はずを整えています。

食品や調理器具等の衛生管理面では、殺菌消毒、手洗い励行の指導、施策をしてきました。食材や献立の内容につきましても、毎回検討を加えています。非常時に対しては大震災を機に、備蓄食品・燃料を一定期間自炊できるように増やし、避難方法を見直すなど、危機に強い体制づくりを進めています。

なお、参加者がけがをした際の傷害保険に加えて賠償責任保険にも加入しており、参加者の過失により不慮の事故が起きた場合にも適用されるように備えています。



会場から3分の東伊那すこやかクリニック



昭和伊南総合病院には救命救急センター



高度医療体制の整った伊那中央病院



真剣に取り組む心肺蘇生法講習



訓練用消火器による実習



繰り返す安全・健康研修